

原子力発電所の運転および建設状況等

原子力安全対策課 平成15年5月8日現在

設備容量	運転中 13基 計1128.5万kW
	建設中 1基 計 28.0万kW

1. 運転または建設中の発電所

項 目		現 状	稼働率(進捗率) %		概 要
発電所名			平成15年度	運開後累計	
日本原子力発電(株)	1号機	運 転 中 (定熱運転中)	100.0	68.7	
			101.2	65.8	
敦 賀 発 電 所	2号機	運 転 中 (定熱運転中)	100.0	82.8	
			102.7	82.4	
核燃料サイクル開発機構 高速増殖原型炉もんじゅ		性能試験中 (事故停止中)	—	—	H7.12.8 中間熱交換器(C)2次系出口配管からのトリウム漏えいに伴い、原子炉手動停止。 平成15年度設備点検開始(H15.5.6~H16.1月予定)
関 西 電 力 (株)	1号機	運 転 中 (定熱運転中)	100.0	52.6	
			103.6	49.8	
美 浜 発 電 所	2号機	運 転 中 (定熱運転中)	100.0	61.9	
			101.4	60.2	
	3号機	定期検査中	100.0	75.8	
			100.0	74.4	
関 西 電 力 (株)	1号機	定期検査中	43.3	64.7	第18回定期検査(H15.4.14~7月上旬) H15.4.14 0号機発電停止。
			42.8	63.5	
大 飯 発 電 所	2号機	運 転 中 (定熱運転中)	100.0	71.7	
			102.7	70.5	
	3号機	運 転 中 (定熱運転中)	100.0	88.4	
			101.9	88.0	
4号機	運 転 中 (定熱運転中)	100.0	86.1		
		102.4	85.9		
関 西 電 力 (株)	1号機	運 転 中 (定熱運転中)	100.0	66.7	
			105.0	65.1	
高 浜 発 電 所	2号機	運 転 中 (定熱運転中)	100.0	68.3	
			104.7	66.6	
	3号機	運 転 中 (定熱運転中)	100.0	85.1	
			104.3	84.7	
4号機	定期検査中	90.1	85.3	第14回定期検査(H15.4.28~7月中旬) H15.4.28 1号機発電停止。	
		89.7	84.9		
		合 計	94.9	70.7	(注1) 稼働率(進捗率)は、平成15年4月末現在。 累計は、営業運転開始以降。
			95.5	71.9	(注2) 稼働率の合計は、「ふげん」を除いた計算値。

2. 運転を終了した発電所

項 目		現 状	稼働期間	稼働率累計 %	概 要
発電所名					
核燃料サイクル開発機構 新型転換炉ふげん発電所 (設備容量: 16.5万kW)		廃止措置準備中	運転開始 S54. 3.20 運転終了 H15. 3.29	63.8 62.2	H15.4.7 原子炉からの燃料取り出し作業開始。燃料移送装置外隔離弁の動作不良により、4.22 から取り出し作業を中断。現在、原因等調査中。

(注3) 稼働率累計は、発電停止日時までとした計算値。

稼働率上段が、時間稼働率 = $\frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100 (\%)$ 下段が、設備利用率 = $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100 (\%)$

<本件に関する問い合わせ先> 原子力安全対策課(担当: 島田)
(県庁内線)2353(直通)0776-20-0314 <http://www.atom.pref.fukui.jp/>

4月の主な出来事

原子力安全対策課

1. 県内の動き

13日(日)

- ・美浜発電所2号機の使用済燃料集合体14体が、核燃料サイクル開発機構東海事業所再処理センターに向けて搬出された。(4月17日、東海事業所到着)

15日(火)

- ・日本原子力産業会議の第36回年次大会が、15日は敦賀市、16日と17日は福井市の会場で開催された。

23日(水)

- ・経済産業省原子力安全・保安院は、東京電力を除く全国15原子力事業者が3月末までに提出した自主点検作業の総点検の最終報告について、特段問題はなかったとする評価結果を公表した。

24日(木)

- ・県は、県内の原子力事業者が3月末までに提出した自主点検作業の総点検の最終報告および県の要請に対する回答について、総点検は適切に行われ、今後の対策についても具体的に進められているとする確認結果を公表した。

2. 記者発表実績

2日(水)

- ・「高浜発電所2号機および3号機の新燃料輸送について」資料配付

4日(金)

- ・「福井県内の原子力発電所の運転実績等について(平成14年)」記者発表

7日(月)

- ・「大飯発電所4号機の新燃料輸送について」資料配付

11日(金)

- ・「大飯発電所1号機の第18回定期検査開始について」記者発表

24日(木)

- ・「原子力発電所の運転・建設計画について(平成15年度)」記者発表
- ・「自主点検作業の適切性確保に関する総点検の最終報告および県の要請に対する回答の確認結果について」資料配付

25日(金)

- ・「高浜発電所4号機の第14回定期検査開始について」記者発表

平成13年度に発生した軽微な異常事象にかかる恒久対策工事の終了について

新型転換炉ふげん発電所 C-濃縮廃液貯蔵タンクの恒久対策工事

1. これまでの経緯

第17回定期検査中の平成14年2月13日、原子炉補助建屋廃棄物処理室地下1階にあるC-濃縮廃液貯蔵タンク下部より、廃液が漏えいしていることを発見した。

調査の結果、タンク下部に割れが確認されたため、2月20日、欠陥部を鉄箱で覆い仮補修を行った。

[平成14年2月21日報告済み]

その後、C-濃縮廃液貯蔵タンク内に貯蔵していた濃縮廃液を、A-濃縮貯蔵タンクに移送し、タンク内を調査した結果、タンク底部の一部のゴムライニングに剥離や亀裂、母材に減肉腐食が認められ、漏えい箇所においては、長さ約100mmの亀裂を確認した。

[平成15年1月8日報告済み]

平成14年12月末より、下記の恒久対策工事を実施していたが、平成15年3月28日、全ての工事を終了した。今後、AおよびBタンクについても、計画的に開放点検を行うこととしている。

2. 恒久対策工事

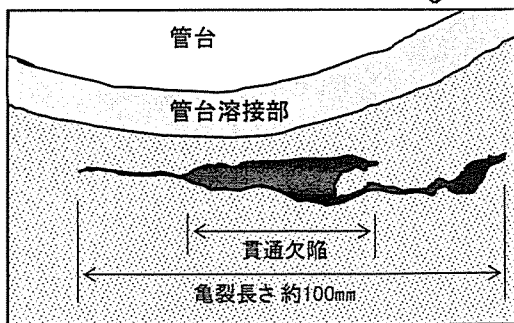
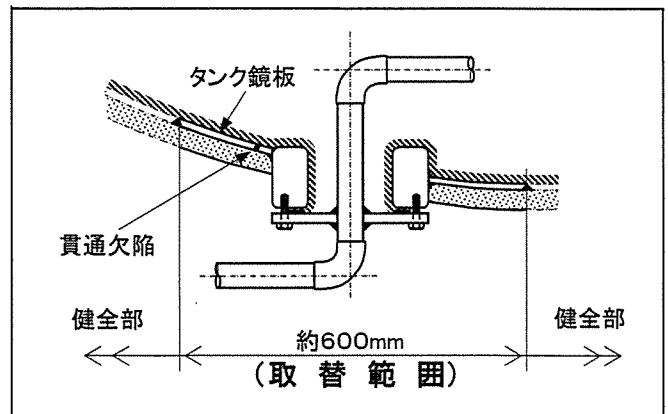
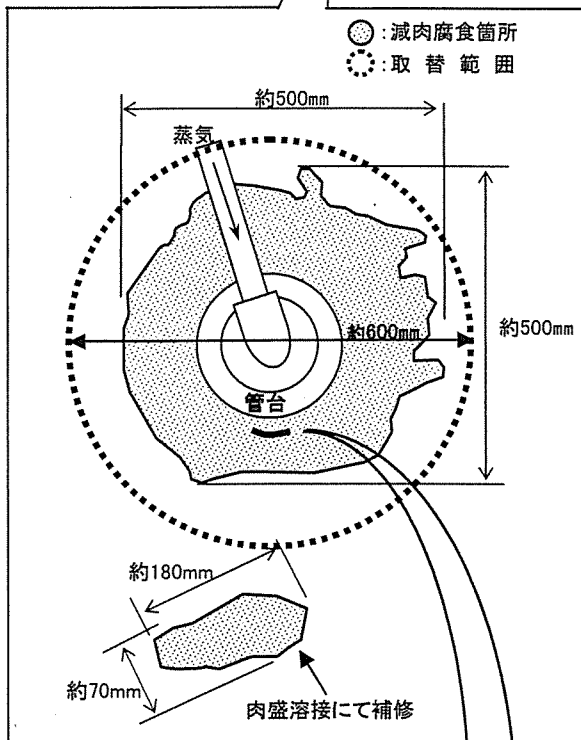
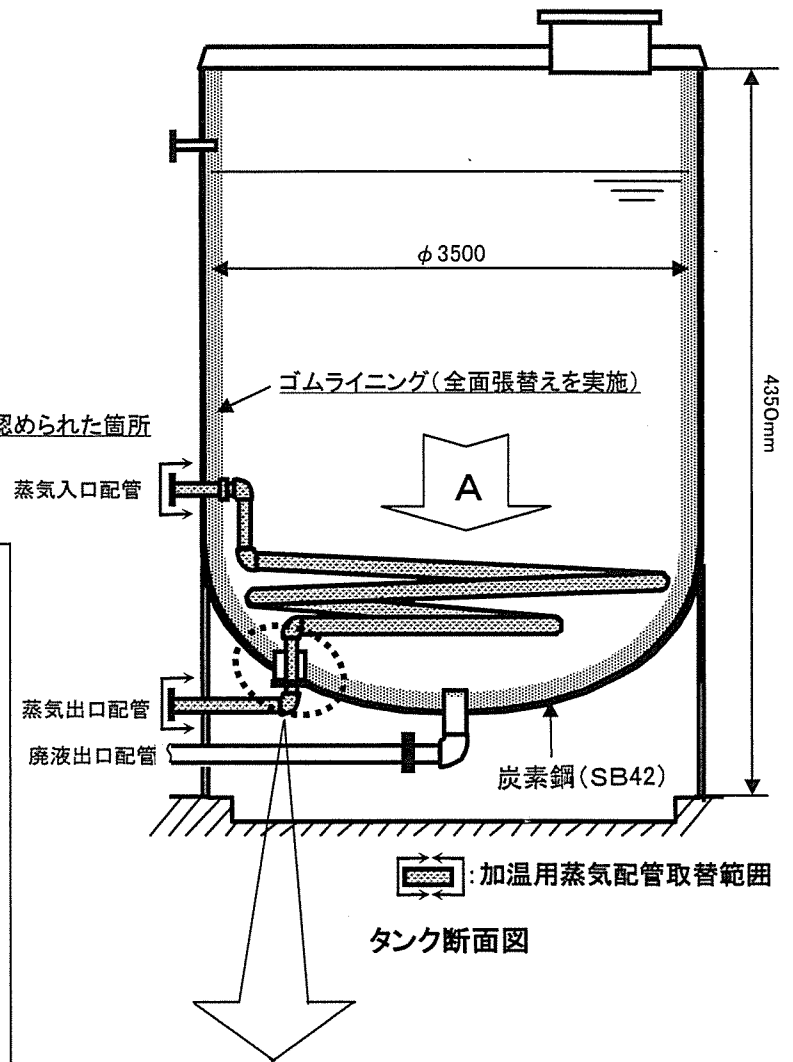
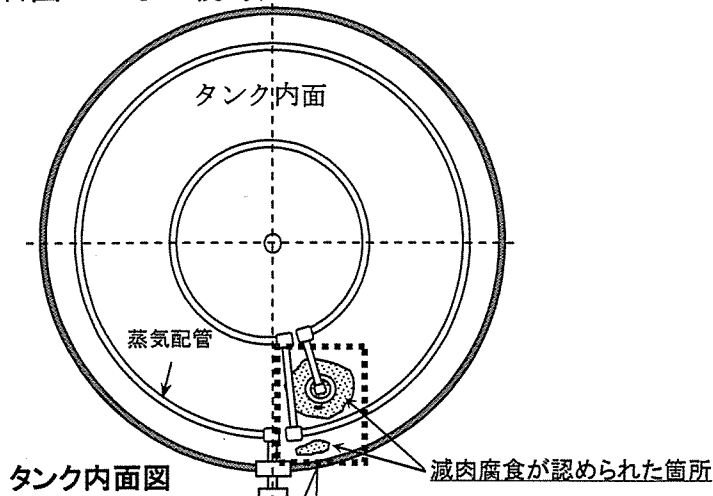
当該タンクの恒久対策として、以下の工事を実施した。

- (1) 亀裂が確認された箇所を含む、蒸気出口管台付近の減肉腐食箇所を、直径600mmの範囲で切り取り、同一部材（炭素鋼）と取替えた。
- (2) その他の減肉腐食箇所についても肉盛溶接を行い、タンク内面にゴムライニングを施工した。

また、以下の工事についても実施した。

- ・ 予防保全の観点から、蒸発濃縮器濃縮液出口から濃縮廃液タンクまでの配管の一部を、耐食性に優れたSUS316材に取替えた。
- ・ 今後、廃樹脂貯蔵タンク(3基)、フィルタスラッジ貯蔵タンク(2基)についても内部点検を行うため、各タンク間で廃樹脂を移送するための配管を布設した。

(右図Aからの視野)



貫通欠陥箇所拡大図

C-濃縮廃液貯蔵タンク点検結果及び補修概要図